

運用実績に関する最新情報はホームページから
<https://www.tmn-anshin.co.jp/>

投資型年金Ⅱ

新変額個人年金保険GF

— 特別勘定レポート —

Vol. **265**

2025年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。

「投資型年金Ⅱ」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社の新変額個人年金保険GFの商品名です。「投資型年金Ⅱ」には専用の特別勘定グループが設定されています。

ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

ご注意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式MA	会社受付日の翌営業日
	日本株式中小型MA	
	日本株式成長型FA	
債券型	世界株式AA	会社受付日の翌々営業日
	世界債券ヘッジ型MA	
	世界債券フリー型MA	
総合型	グローバル・バランスGA	
	世界バランスFA	
金融市場型	米ドル・マネーMA	
	マネー・プールA	

■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29まで ^{*1} に受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降 ^{*2} に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

（注）土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

*1 2024年11月5日より、東京証券取引所の取引時間延長に伴い、14：59⇒15：29に変更になりました。

*2 ※1同様の理由から、15：00⇒15：30に変更になりました。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

目次

種類	特別勘定の名称	資産運用 関係費用*1	掲載ページ
株式型	日本株式MA	1.683% (税込)程度	3p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：ブラックロック日本株式オープン <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 円建/残高約34.2億円 		
株式型	日本株式中小型MA	1.793% (税込)程度	4p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：ブラックロック日本小型株オープン <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 円建/残高約70.6億円 		
株式型	日本株式成長型FA	1.683% (税込)程度	5p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：フィデリティ・日本成長株・ファンド <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 円建/残高約5,292.1億円 		
株式型	世界株式AA	1.595% (税込)程度	6p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け) <input type="checkbox"/> 運用会社：アライアンス・バーンスタイン <input type="checkbox"/> 円建/残高約101.2億円 		
債券型	世界債券ヘッジ型MA	0.528% (税込)程度	7p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 円建/残高約38.4億円 		
債券型	世界債券フリー型MA	0.528% (税込)程度	8p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 円建/残高約16億円 		
総合型	グローバル・バランスGA	0.99% (税込)程度	9p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：ダ・ヴィンチVA <input type="checkbox"/> 運用会社：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント <input type="checkbox"/> 円建/残高約26.5億円 		
総合型	世界バランスFA	最大年率1.68% (税込)程度	10p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：フィデリティ・バランス・ファンド <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 円建/残高約133.6億円 		
金融市場型	米ドル・マネーMA	0.5%程度	11p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ ー スーパー・マネー・マーケット・ファンド <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク <input type="checkbox"/> ドル建/残高約4,380.9億円(2024年10月末現在) 		
金融市場型	マネー・プールA	0.06%以内	12p
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資対象となる投資信託等：特に定めません <input type="checkbox"/> 運用会社：特に定めません 	※金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。	

(米ドル/円=150.74)
ユーロ/円=159.2)

※残高と為替レートは2024年11月末現在

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日
 【資産分類】日本株式
 【運用方針】
 日本の株式の中から、企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選定した銘柄に分散投資することにより、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
 【投資対象となる投資信託】
 ブラックロック日本株式オープン

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	6	2.0%
有価証券等		
ブラックロック日本株式オープン	318	98.0%
その他	—	—
資産合計	324	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	324	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	104.91	—
2024年 1月31日	142.77	6.43%
2月29日	153.65	7.62%
3月31日	160.71	4.60%
4月30日	157.28	-2.13%
5月31日	162.74	3.47%
6月30日	165.48	1.68%
7月31日	162.44	-1.83%
8月31日	156.61	-3.59%
9月30日	159.76	2.01%
10月31日	156.48	-2.05%
11月30日	157.26	0.50%
12月31日	164.78	4.79%
2025年 1月31日	161.29	-2.12%
3ヶ月変化率		3.08%
6ヶ月変化率		-0.71%
1年変化率		12.98%
3年変化率		53.74%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

ブラックロック日本株式オープンの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン
 【運用対象】日本株式
 【ベンチマーク】東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

運用状況

■市場別構成比 (2025.1末現在)

市場	構成比
東証プライム	97.1%
東証スタンダード	1.0%
キャッシュ等	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位10業種構成比 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	20.8%
2 輸送用機器	12.8%
3 機械	8.0%
4 化学	7.3%
5 銀行業	6.8%
6 医薬品	4.9%
7 不動産業	4.6%
8 小売業	4.6%
9 サービス業	4.4%
10 建設業	3.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	4.9%
2 ソニーグループ	電気機器	4.7%
3 日立	電気機器	3.9%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.2%
6 東京海上HD	保険業	3.0%
7 三井不動産	不動産業	2.7%
8 任天堂	その他製品	2.5%
9 キーエンス	電気機器	2.5%
10 第一三共	医薬品	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 56)

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式中小型MA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の株式の中から、成長性、収益性に富む中小型株を中心に運用することにより、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。

【投資対象となる投資信託】

ブラックロック日本小型株オープン

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	212.85	-
2024年 1月31日	263.15	3.96%
2月29日	279.43	6.19%
3月31日	292.54	4.69%
4月30日	290.08	-0.84%
5月31日	288.19	-0.65%
6月30日	300.14	4.15%
7月31日	295.09	-1.68%
8月31日	295.67	0.20%
9月30日	304.01	2.82%
10月31日	294.10	-3.26%
11月30日	300.61	2.21%
12月31日	312.94	4.10%
2025年 1月31日	304.17	-2.80%
3ヶ月変化率		3.43%
6ヶ月変化率		3.08%
1年変化率		15.59%
3年変化率		42.90%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	5	1.5%
有価証券等		
ブラックロック日本小型株オープン	323	98.5%
その他	-	-
資産合計	328	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	328	100.0%

投資対象となる投資信託について

ブラックロック日本小型株オープンの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】ラッセル野村・ミッドスモールキャップ・インデックス (配当込み)

運用状況

■市場別組入比率 (2025.1末現在)

市場	構成比
東証プライム	88.7%
東証スタンダード	7.3%
東証グロース	1.6%
キャッシュ等	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10業種 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 小売業	11.4%
2 電気機器	9.2%
3 化学	8.3%
4 情報・通信業	7.8%
5 銀行業	6.2%
6 建設業	5.6%
7 機械	5.4%
8 陸運業	4.8%
9 卸売業	4.8%
10 輸送用機器	4.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 南海電鉄	陸運業	2.0%
2 長谷工コーポレーション	建設業	1.8%
3 日本電気	電気機器	1.7%
4 サンドラッグ	小売業	1.6%
5 アマダ	機械	1.6%
6 大林組	建設業	1.6%
7 京成電鉄	陸運業	1.6%
8 クレディセゾン	その他金融業	1.6%
9 寺崎電気産業	電気機器	1.6%
10 中国塗料	化学	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 107)

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式成長型FA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年12月2日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンド

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	213.18	-
2024年 1月31日	252.57	4.86%
2月29日	263.10	4.17%
3月31日	271.14	3.05%
4月30日	264.07	-2.61%
5月31日	266.68	0.99%
6月30日	274.22	2.83%
7月31日	270.47	-1.37%
8月31日	260.31	-3.76%
9月30日	268.31	3.08%
10月31日	260.48	-2.92%
11月30日	257.15	-1.28%
12月31日	268.78	4.52%
2025年 1月31日	263.60	-1.93%
3ヶ月変化率		1.20%
6ヶ月変化率		-2.54%
1年変化率		4.37%
3年変化率		23.65%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3	1.9%
有価証券等 フィデリティ・日本成長株・ ファンド	197	98.1%
その他	-	-
資産合計	201	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	201	100.0%

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドの基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

運用状況

■市場別構成比 (2024.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.2%
東証スタンダード	1.6%
東証グロース	0.4%
その他市場	-
現金・その他	1.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比(2024.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.2%
2 銀行業	9.8%
3 輸送用機器	8.0%
4 小売業	6.5%
5 サービス業	6.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	4.5%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
3 日立製作所	電気機器	4.0%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.5%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.4%
6 伊藤忠商事	卸売業	3.3%
7 キーエンス	電気機器	2.9%
8 東京海上ホールディングス	保険業	2.7%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
10 KDDI	情報・通信業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 170)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

当月の東京株式市場は、トランプ米政権による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開となりました。トランプ政権の政策不透明感や内外金利の上昇が投資家心理を圧迫する中、日銀正副総裁の発言を受けて次回金融政策決定会合での利上げ観測が高まり、円高が進行したことなどから、月半ば過ぎまでは株価の軟調な推移が続きました。トランプ氏が米大統領に就任した後、対中関税の即時発動が見送られたこと、また米国で人工知能(AI)を規制する方針が転換され、AI開発の巨額投資が期待されたことなどを背景として、株価は上昇に転じました。日銀による利上げの影響は限定的となる一方、中国の新興企業が低コストで高性能な生成AIモデルを開発したことが報道されると、先端半導体の需要減速が警戒され、半導体関連株が売られる展開となりましたが、月末にかけては決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、底堅い推移となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.14%、日経平均株価は-0.81%でした。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日
【資産分類】世界株式
【運用方針】
世界各国の株式の中から成長の可能性が高い「産業セクター」を選定し、その中から成長性の高いと思われる銘柄に分散投資することにより、長期的に信託財産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
【対象投資信託】
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金つみたて向け）

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	16	2.0%
有価証券等		
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)	846	98.0%
その他	—	—
資産合計	863	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	863	100.0%

ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2022年 1月31日	239.61	—	115.44
2024年 1月31日	293.96	4.38%	147.55
2月29日	309.89	5.42%	150.67
3月31日	314.55	1.51%	151.41
4月30日	307.34	-2.29%	156.90
5月31日	322.83	5.04%	156.74
6月30日	333.56	3.32%	161.07
7月31日	323.25	-3.09%	152.44
8月31日	313.54	-3.00%	144.80
9月30日	321.84	2.65%	142.73
10月31日	334.40	3.90%	153.64
11月30日	327.87	-1.95%	150.74
12月31日	330.52	0.81%	158.18
2025年 1月31日	327.78	-0.83%	154.43

3ヶ月変化率	-1.98%
6ヶ月変化率	1.40%
1年変化率	11.51%
3年変化率	36.79%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金つみたて向け）の基本情報

【運用会社】アライアンス・バーンスタイン
【運用対象】日本を含む世界主要国の株式
【ベンチマーク】MSCI-WORLD（円換算）

運用状況

株式国別配分上位（2025.1末現在）

国名	組入比率
アメリカ	58.4%
ブラジル	6.4%
イギリス	6.0%
日本	3.9%
アイルランド	3.9%
スイス	3.7%
カナダ	3.5%
台湾	3.2%
オランダ	2.9%
香港	1.9%

※実質組入比率を記載しています。

業種別内訳（2025.1末現在）

業種	組入比率
情報技術	30.3%
資本財・サービス	19.8%
金融	19.1%
ヘルスケア	15.1%
一般消費財・サービス	6.6%
公益事業	3.6%
エネルギー	2.0%
生活必需品	1.3%

※実質組入比率を記載しています。

株式組入上位10銘柄（2025.1末現在）

銘柄	国名	組入比率
1 マイクロソフト	アメリカ	3.6%
2 台湾セミコンダクター	台湾	3.2%
3 フレックス	アメリカ	3.0%
4 VISA	アメリカ	2.8%
5 ロンドン証券取引所グループ	イギリス	2.7%
6 セールスフォース	アメリカ	2.6%
7 メルカドリブレ	ブラジル	2.6%
8 ファイザー	アメリカ	2.6%
9 オン・ホールディング	スイス	2.5%
10 ウェイスト・マネジメント	アメリカ	2.5%

※実質組入比率を記載しています。

(銘柄数 51)

【運用会社による投資信託へのコメント】（2025.1末現在）

2025年1月の世界の株式市場は前月末比で上昇しました（米ドルベース）。米国株式市場は、2024年12月の米消費者物価指数（CPI）でコア指数の伸びが鈍化したほか、1月20日に就任したトランプ大統領が署名した大統領令が予想の範囲内だったことからインフレ懸念が後退し、上昇しました。銀行をはじめとして好調な企業決算の発表が相次いだことも、投資家の買い安心感を誘いました。月末にかけては、中国のスタートアップ企業ディープテックの台頭で米ハイテク企業の優位性が揺らぐとの懸念から、やや軟化しました。欧州株式市場は、欧州中央銀行（ECB）が1月の会合で利下げを決定するとの観測が広がったことが下支え要因となったほか、米トランプ政権の関税政策が懸念されていたほど厳しい内容ではなかったことが安心感を誘い、上昇しました。独仏の政局不安はあるものの、企業業績の改善も期待され、堅調な地合いを継続しました。日本株式市場は、月半ばにかけては、日銀による利上げ観測もあって軟調に推移しました。その後は、米トランプ大統領が就任初日に関税政策を発動しなかったことが安心感を誘い、反発しました。月末は、ディープテック・ショックから半導体関連株が売られました。

・当資料は、投資型年金II（新変額個人年金保険GF）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II（新変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あひん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あひん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券ヘッジ型MA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界債券

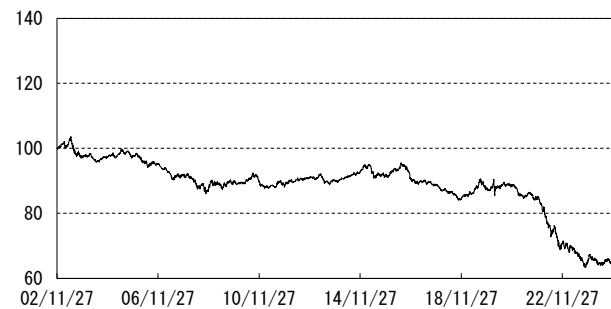
【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	82.62	-
2024年 1月31日	66.09	-2.04%
2月29日	65.55	-0.81%
3月31日	65.89	0.52%
4月30日	64.17	-2.62%
5月31日	63.99	-0.27%
6月30日	64.50	0.79%
7月31日	64.95	0.69%
8月31日	65.47	0.81%
9月30日	65.62	0.22%
10月31日	64.45	-1.78%
11月30日	64.51	0.09%
12月31日	63.71	-1.25%
2025年 1月31日	63.35	-0.55%
3ヶ月変化率		-1.70%
6ヶ月変化率		-2.45%
1年変化率		-4.14%
3年変化率		-23.32%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	0	2.1%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	32	97.9%
その他	-	-
資産合計	32	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	32	100.0%

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率 (2025.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	45.8%	-0.3%
カナダ	1.8%	1.6%	0.1%
メキシコ	0.7%	1.0%	0.1%
日本	10.0%	9.7%	98.5%
オーストラリア	1.1%	0.8%	0.0%
ニュージーランド	0.2%	-	-
シンガポール	0.3%	0.6%	0.1%
中国	10.4%	9.8%	0.3%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.6%
インドネシア	-	0.1%	0.0%
ユーロ	26.5%	34.3%	0.3%
英国	4.6%	4.6%	0.1%
ドイツ	0.2%	0.3%	0.1%
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.1%

	ベンチマーク	債券	通貨
スイス	-	-	0.0%
ポーランド	0.5%	0.6%	0.1%
ノルウェー	0.1%	0.2%	0.0%
チェコ	-	-	0.0%
イスラエル	0.3%	-	-
キャッシュ等		-10.3%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年2月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	4.2%
2 日本国債	0.10%	2031/9/20	3.5%
3 フランス国債	-	2025/2/25	2.3%
4 アメリカ社債	1.875%	2027/4/27	2.3%
5 アメリカ特殊債	6.00%	2025/2/13	2.2%
6 フランス国債	2.75%	2030/2/25	1.9%
7 アメリカ国債	4.25%	2026/12/31	1.5%
8 ドイツ国債	2.20%	2034/2/15	1.4%
9 イタリア国債	3.00%	2029/8/1	1.3%
10 中国国債	2.68%	2030/5/21	1.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 277）

修正デュレーション=平均6.69年（ベンチマーク=同6.86年）

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券フリー型MA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

ユニットプライス		前月比
2022年 1月31日	104.10	-
2024年 1月31日	106.71	0.80%
2月29日	107.58	0.82%
3月31日	108.97	1.29%
4月30日	108.75	-0.20%
5月31日	110.31	1.44%
6月30日	112.99	2.43%
7月31日	110.57	-2.14%
8月31日	107.04	-3.20%
9月30日	108.66	1.51%
10月31日	110.60	1.79%
11月30日	108.95	-1.49%
12月31日	111.35	2.21%
2025年 1月31日	109.15	-1.98%
3ヶ月変化率		-1.31%
6ヶ月変化率		-1.29%
1年変化率		2.29%
3年変化率		4.85%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	2	1.8%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	120	98.2%
その他	-	-
資産合計	122	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	122	100.0%

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率 (2025.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	53.2%	45.7%
カナダ	1.8%	2.5%	1.8%
メキシコ	0.7%	0.9%	0.7%
南アフリカ	-	-	0.0%
日本	10.0%	11.1%	10.0%
オーストラリア	1.1%	1.1%	1.1%
ニュージーランド	0.2%	-	0.2%
シンガポール	0.3%	0.5%	0.4%
中国	10.4%	10.2%	10.3%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.5%
インドネシア	-	0.1%	0.0%
ユーロ	26.5%	29.3%	24.3%
英国	4.6%	4.8%	3.9%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.2%
スイス	-	-	-0.1%
ポーランド	0.5%	0.5%	0.5%
ノルウェー	0.1%	0.3%	0.2%
チェコ	-	-	0.1%
イスラエル	0.3%	-	0.3%
キャッシュ等		-15.4%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年2月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	5.1%
2 日本国債	0.10%	2031/9/20	3.9%
3 アメリカ特殊債	6.00%	2025/2/13	2.2%
4 アメリカ国債	3.37%	2033/5/15	2.2%
5 アメリカ国債	4.37%	2034/5/15	2.1%
6 フランス国債	2.75%	2029/2/25	2.0%
7 日本国債	0.60%	2033/12/20	1.9%
8 アメリカ国債	4.12%	2026/10/31	1.6%
9 アメリカ社債	3.75%	2031/4/1	1.6%
10 フランス国債	2.75%	2030/2/25	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 225）

修正デュレーション=平均6.96年（ベンチマーク=同6.86年）

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

グローバル・バランスGA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2011年5月25日

【資産分類】バランス

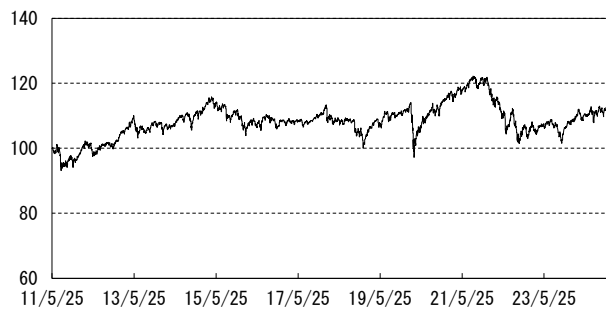
【運用方針】

日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。原則として為替ヘッジを行います。

【投資対象となる投資信託】

ダ・ヴィンチVA

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	116.81	-
2024年 1月31日	108.69	0.32%
2月29日	109.48	0.73%
3月31日	112.04	2.33%
4月30日	108.76	-2.93%
5月31日	109.84	1.00%
6月30日	110.50	0.60%
7月31日	110.96	0.42%
8月31日	111.29	0.29%
9月30日	112.94	1.49%
10月31日	111.11	-1.62%
11月30日	112.53	1.28%
12月31日	111.57	-0.85%
2025年 1月31日	111.84	0.24%
3ヶ月変化率		0.65%
6ヶ月変化率		0.79%
1年変化率		2.89%
3年変化率		-4.26%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1	1.6%
有価証券等		
ダ・ヴィンチVA	73	98.4%
その他	-	-
資産合計	74	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	74	100.0%

投資対象となる投資信託について

ダ・ヴィンチVAの基本情報

【運用会社】ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

【運用対象】日本を含む世界各國の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。)

【ベンチマーク】MSCIワールドインデックス40%+JPモルガン・ガバメントボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに100%為替円ヘッジ、円ベース)+日本円1か月TIBOR20%

運用状況

■資産構成 (2025.1末現在)

	構成比
世界株式	45.8%
世界債券	8.8%
円短期金融商品	45.4%
合計	100.0%

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

<資産クラス間配分>

資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、大型株に対してやや弱気の見通しとしている。大型株はモメンタムの観点で評価が低いことからやや弱気の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点からテクノロジー株に対してやや弱気の見通しとしている。

<株式国別配分>

株式国別配分においては、スペインやドイツに対して強気の見通しとする一方で、アメリカやイタリアに対して弱気の見通しとしている。スペインに対しては、リスクプレミアムおよびバリュアの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ドイツに対しては、モメンタムおよびバリュアの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリュアおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、リスクプレミアムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<債券国別配分>

債券国別配分においては、フランスやカナダに対して強気の見通しとする一方で、ドイツやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。フランスに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、ドイツに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<通貨配分>

通貨配分においては、アメリカや日本に対して強気の見通しとする一方で、イギリスやユーロ圏に対して弱気の見通しとしている。アメリカに対しては、バリュアおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。日本に対しては、ファンダフローおよびバリュアの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、バリュアおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、ファンダフローおよびバリュアの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

- ・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
- ・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。
- ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界バランスFA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年12月2日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・バランス・ファンド

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	8	1.8%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ファンド	450	98.2%
その他	—	—
資産合計	459	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	459	100.0%

■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	146.43	—
2024年 1月31日	173.90	3.26%
2月29日	178.75	2.79%
3月31日	183.60	2.71%
4月30日	181.07	-1.38%
5月31日	186.06	2.76%
6月30日	191.44	2.89%
7月31日	187.43	-2.09%
8月31日	182.85	-2.45%
9月30日	185.95	1.69%
10月31日	188.96	1.62%
11月30日	187.85	-0.58%
12月31日	192.06	2.24%
2025年 1月31日	189.03	-1.58%
3ヶ月変化率		0.04%
6ヶ月変化率		0.85%
1年変化率		8.70%
3年変化率		29.09%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・バランス・ファンドの基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品
【ベンチマーク】複合インデックス (円ベース)
● TOPIX (配当金込) (25%)
● MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)
● ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)

運用状況

■株式 (2024.12末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド (適格機関投資家専用)	26.3%
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	23.6%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	0.8%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.5%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモラー・カンパニーズ・ファンド	0.2%
フィデリティ・ファンズ・サステナブル・アジア株式ファンド	0.2%
合計	51.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■債券・短期金融資産等 (2024.12末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド (除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家販売制限付き)	45.5%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	1.0%
合計	46.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位5ヶ国・地域 (2024.12末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	47.5%
2 日本	27.2%
3 ドイツ	9.2%
4 イギリス	4.3%
5 中国	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位5通貨 (2024.12末現在)

通貨	構成比
1 アメリカ・ドル	53.6%
2 日本・円	27.2%
3 ユーロ	9.5%
4 イギリス・ポンド	3.6%
5 中国・元	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米ドル・マネーMA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2003年4月22日

【資産分類】短期金融商品

【運用方針】

短期の市場性を有する有価証券および金融市場証券に分散投資し、米ドル・ベースでの元本、流動性および最大限の収益の確保を追求することを目指します。

【投資対象となる投資信託】

ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ
ー スーパー・マネー・マーケット・ファンド

■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

日付	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	79.21	-
2024年 1月31日	103.52	4.25%
2月29日	105.92	2.32%
3月31日	106.66	0.70%
4月30日	110.79	3.87%
5月31日	110.94	0.14%
6月30日	114.19	2.93%
7月31日	108.47	-5.01%
8月31日	103.36	-4.71%
9月30日	102.15	-1.17%
10月31日	110.09	7.77%
11月30日	108.23	-1.69%
12月31日	113.68	5.04%
2025年 1月31日	111.24	-2.14%
3ヶ月変化率		1.05%
6ヶ月変化率		2.56%
1年変化率		7.46%
3年変化率		40.44%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズー スーパー・マネー・マーケット・ファンドの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク

【運用対象】短期金融商品 (米ドル建て)

【ベンチマーク】特に定めない

運用状況

■ポートフォリオ構成 (2024.12末現在)

	構成比
レボ	88.8%
CP	44.1%
政府機関債	8.4%
CD	1.0%
短期社債	0.3%
現金等	-42.5%

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

マネー・プールA (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

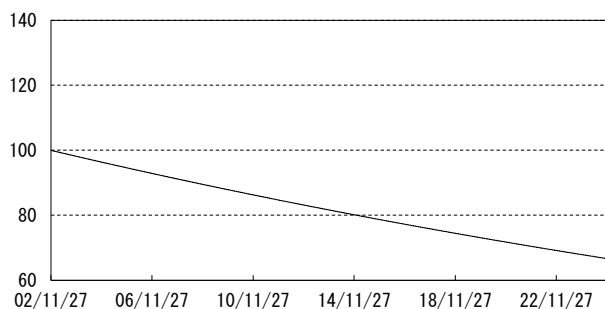
【特別勘定の設定日】2002年11月27日
 【資産分類】短期金融商品
 【運用方針】
 円建ての預貯金、短期金融商品を中心に運用を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。
 【投資対象】短期金融商品

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	71	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	71	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	71	100.0%

ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	70.24	—
2024年 1月31日	67.70	-0.16%
2月29日	67.60	-0.15%
3月31日	67.50	-0.16%
4月30日	67.40	-0.15%
5月31日	67.29	-0.16%
6月30日	67.19	-0.15%
7月31日	67.08	-0.16%
8月31日	66.98	-0.16%
9月30日	66.88	-0.15%
10月31日	66.77	-0.16%
11月30日	66.67	-0.15%
12月31日	66.57	-0.16%
2025年 1月31日	66.46	-0.16%
3ヶ月変化率		-0.46%
6ヶ月変化率		-0.92%
1年変化率		-1.83%
3年変化率		-5.38%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※マーケットの先行きが著しく読みにくい局面等で資金を一時的に待避させる目的でご利用ください。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.84%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.793%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.84%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～2%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～2%(経過年数に応じて)

■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.793%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/ ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ ☎ 0120-155-730 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---